

第1章 札幌市の観光への取り組み

1 平成24年度観光コンベンション部の事業概要

各事業の詳細については、【 】内に記載している各担当係までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

札幌市観光文化局観光コンベンション部観光企画課

電話 011-211-2376

○観光客の受け入れ環境整備事業

(1) 観光案内所の運営管理【観光誘致・受入担当】

来札客に各種観光情報等を提供するため、市内に観光案内所を設置しています。常設の案内所のほか、観光シーズンやイベントに合わせて設置する案内所があります。

また、外国人来札客に対しての観光情報提供場所として、国際観光振興機構（日本政府観光局：JNTO）の指定による「ビジット・ジャパン案内所（V案内所）」があります。

〔観光コンベンション部案内所一覧〕

名称	概要
北海道さっぽろ観光案内所 (V案内所)	所在地：中央区北6西4 JR札幌駅1階西側コンコース 定休日：年中無休 営業時間：8:30～20:00 電話番号：011-213-5088
カッコウの窓口 (V案内所)	所在地：中央区北1西2 北海道経済センタービル4階 札幌観光協会内 定休日：土日祝、年末年始 営業時間：8:45～17:15 電話番号：011-211-3341
大通公園観光案内所	所在地：中央区大通西3丁目 開設期間：春～秋季のみ 平成24年は4/27～10/31まで開設 定休日：開設期間中は無休 営業時間：9:30～17:30（4・5月、9・10月） 9:00～18:00（6～8月） 電話番号：なし
定山溪観光案内所	所在地：南区定山溪温泉東3丁目 定休日：年末年始 営業時間：9:00～17:00 電話番号：011-598-2012
札幌国際プラザ (V案内所)	所在地：中央区北1西3札幌MNビル3階 定休日：日祝、年末年始 営業時間：9:00～17:30 電話番号：011-211-3678
雪まつり観光案内所	所在地：中央区大通西6・9丁目 開設期間：雪まつり会期中のみ 平成25年は2/5～2/11まで開設予定 定休日：雪まつり会期中無休 営業時間：9:00～22:00 電話番号：なし

(2) 観光マップ制作【観光誘致・受入担当】

来札客の円滑な周遊をサポートするためのツールとして、中心部及び広域マップに主な観光施設を掲載した「さっぽろ観光マップ」を発行し、市内各案内所等で配布しています。

(3) 観光案内板の管理【庶務係】

来札客の利便性を図るために、195 基の観光案内板を設置しています。表示言語は、日本語・英語・中国語（簡体字）・ハングルの4言語に加え、中国語（繁体字）の追記を順次行っており、外国人の来客にも対応しています。また、ピクトグラム（絵文字表記）などユニバーサルデザインを採用して利便性に配慮しています。

(4) 都心部観光バス待機場の設置【観光誘致・受入担当】

観光バスで訪れた観光客が街なかを見学している間、バスが路上駐車をしなくても済むように、札幌市と北海道バス協会が共同で観光バス専用の待機場を設置し、北海道バス協会が管理運営をしています。

観光バス待機場所在地：中央区北1条西9丁目〔平成23年度利用台数13,547台〕

(5) 札幌まちめぐりパス事業への参画【観光誘致・受入担当】

公共交通機関や観光施設等と連携し、共通のパスを発行することにより、札幌を訪れる観光客の市内周遊促進や経済を活性化させることを目的として実施している「札幌まちめぐりパス」の事業に参加しています。

(6) ICTを活用した札幌まちめぐり事業【観光誘致・受入担当】（4 トピックス(p13)参照）

札幌の魅力ある情報を観光客のニーズに応じてタイムリーに提供するため、スマートフォン（多機能携帯電話）やタブレットPC等に対応した観光アプリケーションソフトウェアを開発しました。観光情報の他、位置情報を利用して、目的地やユーザー周辺の情報を提供するなど、国内外の観光客の札幌滞在、周遊を促進します。

○ホスピタリティ推進事業【観光誘致・受入担当】

(1) 観光ボランティアの運営

市民による観光ボランティアが、大通公園観光案内所や北海道さっぽろ観光案内所、雪まつり会場の案内所で、パンフレットの配布や観光スポットの紹介、写真撮影などの観光案内を行っています。地元住民ならではの意見が聞けるということで、観光客から好評を得ています。

登録数は171名（男65名・女106名）、平均年齢は59.4歳であり、活動は交代制となっています（平成24年7月現在）。

(2) 市民と協働による観光リーフレットの多言語化

ICTを活用した札幌まちめぐり事業との連携により、地元市民がおすすめるスポット等の情報を掲載した観光モデルコースの多言語化（平成24年度は5コース）を実施します。

(3) 札幌おもてなし委員会

まち全体のおもてなし向上を目指すため、観光関連団体（経済団体、観光関連事業者、都心部商店街、市民ボランティア、行政など）と連携・協力して立ち上げた、官民合同の組織である「札幌おもてなし委員会」の事務局を担っています。大規模コンベンション等での統一感のあるおもてなし、観光関連事業者の情報共有・ネットワーク化を行い、おもてなしのレベルアップを図っていきます。

○観光情報の発信

(1) ホームページの運営管理

ア) 観光情報サイト「ようこそさっぽろ」の運営管理【企画調整担当】

札幌市の観光情報サイトとして「ようこそさっぽろ」を公開しています。

このサイトは、交通機関や観光施設等の基本情報のほか、イベントなど季節限定の情報を紹介。また、「その道の達人」が書く記事を月に数回更新するなど、定番から旬のものまでバラエティに富んだ観光情報を提供しています。日本語のほか、英語・中国語（簡体字・繁体字）・ハングル版があります。

ようこそさっぽろ <http://www.welcome.city.sapporo.jp>

イ) リアルタイム情報発信システム運営【観光誘致・受入担当】

市内で行われる様々な観光・文化事業の情報を集約し、季節情報（桜開花情報、紅葉情報など）や観光施設の運休情報（ロープウェイ、観光幌馬車など）などのリアルタイム情報とあわせて、市民へわかりやすく提供する「観光文化情報ステーション」を運営しています（観光文化局文化部に予算を委託し運営）。

なお、観光文化情報ステーションは以下のホームページでも情報発信を行っています。

観光文化情報ステーション

所在地：地下鉄南北線「大通駅」地下コンコース北改札口横

定休日：年末年始（12/29～1/3）

営業時間：10：00～20：00

URL <http://www.sapporo-info.com/index.php>

携帯電話用 URL <http://www.sapporo-info.com/m/>

QRコード⇒



(2) 観光メールマガジンの配信【企画調整担当】

札幌観光の旬の魅力を広く発信するため、首都圏をはじめとする旅行会社の方々や、観光関連会社の方々、市内外の一般の方々などを対象に観光メールマガジンを配信しています。このメールマガジンでは、魅力が読者により伝わるよう、観光コンベンション部職員が実際に体験取材を行っています。

メールマガジンの配信は、下記のホームページから申し込むことができます。

[平成 24 年 9 月現在の配信登録数 約 1,900]

札幌の観光行政(メールマガジン配信申込・バックナンバー紹介)

http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/mail_magazine/mail_magazine.html

(3) 観光情報共有メーリングリストの管理運営【企画調整担当】

季節情報（桜開花情報、紅葉情報など）や観光施設運休情報（ロープウェイ、観光幌馬車など）、各種イベント情報等の観光関連情報を、観光案内所や市内ホテル関係者等で共有するためのメーリングリスト「観光情報ネット」を運営しています。

(4) 観光写真ライブラリー【企画調整担当】

企業等が札幌の観光ガイドブックやパンフレット制作を行う際に必要となる市内の観光スポット等の写真を保有しており、ホームページで無料ダウンロードサービスを行っています。[平成 24 年 9 月現在 約 2,000 枚保有]

観光写真ライブラリー

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/photolibrary/>

(5) Twitter (ツイッター)【企画調整担当】

Twitterにおいて「札幌市観光コンベンション部」の名前でアカウントを設けており、イベントの告知をはじめとした観光情報の発信を行っています。

〔平成24年9月現在のフォロワー数 約7,400〕

札幌市観光コンベンション部@Sapporo_tourism(Twitter アカウント)

http://twitter.com/Sapporo_tourism

(6) Facebook (フェイスブック)【企画調整担当】

Facebookにおいて、日本語版と英語版のアカウントを設けており、写真や観光情報等の発信を行っています。

ようこそさっぽろ～札幌市の観光案内(日本語版)

<http://www.facebook.com/sapporocity>

Welcome to Sapporo(英語版)

<http://www.facebook.com/SapporoNow>

○藻岩山魅力アップ事業【企画調整担当】

ロープウェイ、展望台などの藻岩山観光施設について、再整備を実施し、平成23年12月23日よりリニューアルオープンしました。車椅子の方などこれまで山頂展望台にいらっしゃることが難しかった方々も含めて、多くの方々にご利用いただいています。

平成24年度は、ロープウェイ山麓駅と水道記念館を結ぶ散策路の整備や、「もいわやまの日」など、多くの市民・観光客に、新しくなった藻岩山に親しんでいただけるような各種イベントの充実を図っていきます。

○国内外へ向けた観光プロモーション事業

(1) 国内プロモーション事業【観光振興担当】

国内旅行は、個人手配やフリープランなど個人旅行の需要が多くなっています。札幌市では、より多くの一般消費者に直接的または間接的に札幌観光の魅力伝え、来札意欲を喚起させることが特に重要と考え、各種プロモーション事業を展開していきます。

また、実施にあたっては、より効果的に事業展開が図られるよう観光関連事業者との連携を積極的に進めていきます。

ア) さっぽろフォトコンテスト2012(4 トピックス(p14)参照)

携帯電話カメラの高性能化や、多種多様なデジタルカメラの登場により、幅広い層に写真撮影が親しまれるようになってきていることから、より札幌観光を楽しんでもらい、併せて札幌観光の魅力を発信するための仕掛けとして、さっぽろフォトコンテストを実施します。

イ) 現地プロモーション

各地の市民イベントや物産展等に出展し、直接一般消費者に札幌観光の魅力を発信するプロモーションを実施します。

24年度実施予定地：東京、神戸、松本などの就航都市

ウ) 冬の観光プロモーション

「さっぽろ雪まつり」を中心とする冬の札幌観光の魅力を発信するプロモーションを首都圏において実施します。

エ) 道内向けプロモーション

企業等の協力を得て、交通機関や商業施設など多くの人の目に触れる場所に、札幌の観光情報を題材としたポスターを掲出します。

(2) 国際プロモーション事業【観光誘致・受入担当】

東日本大震災の影響により激減した外国人観光客は、平成 23 年度下半期に限れば、台湾は 4 割程度の増加、中国・香港はほぼ前年並みとなり、回復を見せていますが、上半期の減少を挽回するには至りませんでした。韓国・東南アジアについては、原発事故による放射能被害の懸念や為替レート等の影響から、回復の度合いが遅れています。

札幌市では、海外からの観光客の回復と増加に向け、現地での観光プロモーション、国際旅行博覧会出展、招請事業など、札幌の観光情報の提供や、魅力の発信に努めている他、海外からの観光客のため、外国語版の観光マップを作成しています。

札幌の魅力を発信する PR 事業を展開することにより、一般市民の旅行意欲を喚起し、旅行会社に商品造成を促します。

ア) 現地プロモーション事業

現地の旅行会社を対象に、観光 PR や商談会を行うことで、札幌の魅力を伝え、旅行商品の造成を促します。また現地のイベントや物産展とタイアップし、一般市民に向けて直接 PR を行うことで、旅行意欲を喚起します。

24 年度実施予定地：北京・瀋陽（中国）、香港

イ) 国際旅行博覧会出展事業

旅行関係者や、旅行に関心の高い一般市民が集まる場で、観光 PR や情報提供を行うことにより誘客につなげると同時に、来場者からの聞き取りによる市場調査を行います。

24 年度出展予定：北京旅遊博（中国）、タイ旅行フェア（タイ）、MATTA Fair（マレーシア）、トラベルマート 2012（日本）等

ウ) 招請事業

TV 局、旅行雑誌等のメディアや、旅行会社等の関係者を招請して札幌の魅力を実際に体験してもらい、自国に伝えてもらうことで旅行意欲の喚起や、旅行商品の造成を促します。

24 年度実施予定：中国、韓国、タイ、香港、台湾、シンガポール

エ) 観光マップ制作

海外からの観光客の円滑な周遊をサポートするためのツールとして、中心部及び広域マップに主な観光施設を掲載した、外国語版「さっぽろ観光マップ」を発行し、市内各案内所にて配布しています。

制作言語：英語、中国語（簡体字・繁体字）及びハングル

○MICE 誘致・支援事業【観光誘致・受入担当】

MICE（マイス＝**M**eeting、**I**ncentive travel、**C**onvention、**E**vent/Exhibition）は、高い経済効果をもたらすだけでなく、経済情勢による影響や季節による変動が小さいという特徴があります。また、世界へ向けた PR 効果が高く観光目的としての再訪問を見込めたり、受け入れ施設のレベルアップにもつながるなど波及的な効果も大きく、集客交流産業の活性化に寄与するものです。

札幌市では、MICE を巡る都市間競争に打ち勝つため、平成 22 年 11 月に策定した「札幌 MICE 総合戦略」に基づき、産業界や大学、市民との連携や海外とのネットワークを生かして、MICE によるさらなる集客を目指していきます。

札幌市の MICE の推進にあたっては、公益財団法人札幌国際プラザコンベンションビューローがワンストップサービス機能を担い、MICE 開催におけるコーディネートや受入の支援、首都圏における情報収集と誘致活動を行っているほか、コンベンションの運営費用

にかかる助成金制度を運用しています。

また、MICE 推進に係る事業を行うにあたり、官民の連携をより強化するため、「さっぽろ MICE 推進委員会」を設置し、中国市場へのマーケティング強化、韓国大田マーケティング公社との連携による共同誘致や、MICE 見本市への出展、キーパーソンの招請など、戦略的な取り組みを行っています。

○PR ツールの制作、配布・貸出【観光振興担当】

札幌の観光の魅力を視覚的にアピールしていくために、広報宣伝物を制作し、配布または貸出を行っています。

(1) 観光PR用DVD・映像ライブラリー素材

本市では、観光PR用のDVDを制作しており、様々なPRの機会をとらえて放映や配布を行っています。また、制作時に撮影した映像の一部をライブラリーとし、DVDとともに広く貸し出しています。

貸出物の名称	言語	メディア	備考
「CINEMATIC CITY SAPPORO」	日本語、英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語	DVD	初版：平成23年度 改訂：平成24年度
「CINEMATIC CITY SAPPORO」 映像ライブラリー素材		DVD[MPEG-2]	解像度 720×480
		テープ[HD-CAM]	解像度 1440×1080

インターネット上でも閲覧できます。

ようこそさっぽろ内の「CINEMATIC CITY SAPPORO」のページ

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/movies>

(2) 観光PRリーフレット・ポスター

本市では、さまざまな機会をとらえた幅広いプロモーション活動を行うため、観光PRリーフレットとポスターを制作しています。制作したリーフレットやポスターは、全国各地で行われる物産展や各種イベント等で配布、掲出していきます。

○来札観光客の動向調査・分析、結果についての情報提供【企画調整担当】

(1) 来札観光客数、外国人宿泊者数の調査(4トピックス(p15)参照)

札幌市への来札観光客の入り込み数や宿泊施設の利用状況などの調査を行い、本書「札幌の観光」やインターネットで公開しています。

札幌の観光行政(観光統計データ)

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/statistics/statistics.html>

(2) 来札観光客動態調査

来札観光客の動態を明らかにし、今後の観光行政に活用することを目的に、以下の調査を実施しています。

なお、過去の調査結果はホームページで公開しています。

札幌の観光行政(計画・調査レポート)

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/program/program.html>

ア) 来札観光客満足度調査

道外からの観光客を対象に、来札観光の満足度、観光消費額、宿泊日数、再訪意向などに関するアンケート調査を実施しています。

[平成22年度 来札観光客の札幌観光に対する総合満足度：94.7%]

イ) 外国人観光客動態調査

香港、台湾、中国、韓国など外国人観光客を対象に、市内での観光行動や満足度

などに関するアンケート調査を実施しています。

〔平成 22 年度 外国人観光客の札幌観光に対する総合満足度：95.4%〕

○（仮称）札幌市観光まちづくりプランの策定【企画調整担当】

札幌市では、観光を通じた豊かなまちづくりを進めるため、「（仮称）札幌市観光まちづくりプラン」を策定します。

平成 23 年度は、学識者、業界団体、市民公募委員などで構成する「札幌市観光振興プラン検討会議」を設置して、今後の方向性や取り組むべき施策などについて、具体的な検討を行いました。

札幌は、今や世界的なブランドとなっている北海道の食材が集中しているほか、便利な都会でありながらも市内・近隣には豊かな自然に恵まれており、四季に応じた美しい景色や、雪まつりのような独自色溢れるイベントを楽しむことができます。これらはほんの一例であり、札幌の魅力は他に例を見ないほど多岐に渡っていますが、札幌市民が楽しんでいる魅力の全てを観光で訪れた方が楽しんでいるわけではありません。今後は、札幌がもつ多種多様な魅力を最大限に生かすことで、札幌ならではの観光スタイル「さっぽろツーリズム」を確立し、何度でも行きたい「まち」となることで、集客交流をより一層促進していきます。

さらには、魅力を活かした集客交流により、まちに活力がもたらされ、市内消費の拡大が期待できます。その結果、魅力豊かなまちづくりがさらに進んでいく、という発展的な循環構造の確立を目指していきます。

現在、札幌市の最高位の計画となる「札幌市まちづくり戦略ビジョン」の内容との整合性を図るべく調整を進めており、平成 24 年度中の策定を予定しています。

○定山溪地区の観光振興

（1）定山溪観光客誘致関連【観光振興担当】

地域が実施するイベントやプロモーションなど来客誘致強化や受入体制の充実を目的とした事業への支援を行います。また、エリアの特徴や魅力を活かし、集客が落ち込む夏期を中心として地域の活性化に向けた事業を行います。

（2）定山溪地区整備促進事業【企画調整担当】

定山溪地区の観光資源としての魅力向上を目指し、エリア全体としての総合的な再整備に向けた構想策定を行います。

平成 24 年度は今後の方向性を検討するための基礎的なデータを取るため、訪れた方・訪れなかった方へのアンケート調査を実施します。

○北海道内の魅力を活かした広域連携による周遊、滞在の促進【観光振興担当】

札幌市の周辺市町村に広がる大自然を観光資源とした滞在型観光の促進や、道内中核都市間において道民の域内交流を図るなど、北海道の広域的な魅力を活かすために自治体間において連携した取り組みを行っていきます。

（1）札幌広域圏組合

札幌広域圏組合は、広域的な地域振興を図ることを目的に、札幌近郊 8 市町村から構成されている特別地方公共団体です。圏域交流や圏域振興については近郊市町村と密度の濃い連携のもと、互いに無いものを補いながら、「点」としてではなく「面」として札幌圏を PR し、札幌圏への誘客を目指しています。また、同じ圏域を有する観光圏整備事業とも連携し、共通の取り組みとして協働で進めています。

主な事業としては、札幌近郊の観光資源を活用し、地域の創意工夫に満ちた「地域旅」

を造成するためのワークショップ等の取り組みに対する支援や、積極的な首都圏でのPR活動、圏域の景色や体験、食など様々な観光資源を紹介したブログサイトの開設などの事業があります。

(2) 道内中核都市観光連携協議会

北海道内の中核都市(函館市・旭川市・釧路市・帯広市・北見市・札幌市)による「道内中核都市観光連携協議会」を平成23年4月に立ち上げました。今年度は、域内交流を目的とした「道内中核都市周遊促進事業」(中核6都市の観光施設を巡るスタンプラリーの実施)をはじめ、北海道さっぽろ「食と観光」情報館イベントスペースにおいてポスター及びパンフレットの掲出などを行います。

(3) さっぽろ広域観光圏推進協議会

札幌市中心部などの都市としての魅力と周辺市町村に広がる大自然を観光資源とした札幌圏での2泊3日以上滞り型観光を促進するため、周辺市町村や民間事業者と連携して「さっぽろ広域観光圏」を整備しました。「さっぽろ広域観光圏」では、少ない移動時間で都会と自然の両方を満喫できることをメリットとして各種事業を展開しています。平成24年度は、モニターツアーを実施するほか、集客促進用フリーマガジン(夏、秋、冬号)を制作し首都圏等への配布や、札幌市に宿泊した方向けの周遊促進マップを制作し宿泊者の圏域内周遊を促すキャンペーンを実施するなど、圏域の魅力アップと滞在促進を図っていきます。

観光圏：観光圏とは、観光庁が観光圏整備法に基づいて実施している事業です。観光圏に認定されることによって、ホテル・旅館による旅行業者代理業の特例措置などのメリットがあります。

○新たな観光魅力づくり、観光資源の開発【観光振興担当】

観光客の札幌市での滞在をより充実させることを目的に、各関係団体とも連携のうえ、札幌の新たな観光魅力づくり、観光資源の開発を行っています。

(1) 札幌シティ・リゾートウエディング(4トピックス(p13)参照)

挙式を兼ねた旅行の誘致も視野に入れながら、香港からのフォトウエディング(結婚記念写真旅行)を誘客するための現地PRや誘客促進キャンペーンを行います。

札幌ロケーションフォト・ウエディングガイドURL

<http://sapporo-crw-photo.jp/>

札幌ロケーションフォト・ウエディング協議会フェイスブックページ

<http://www.facebook.com/SapporoLocationphotoWedding.fan>

(2) さっぽろスイーツ

平成17年度に設立された「スイーツ王国さっぽろ推進協議会」を中心に、北海道産の優れた機能性食材を生かしたスイーツの開発や、国内外へのPR活動など様々な事業を展開しています。

○各種まつりの企画実施【事業担当】(第4章1札幌でのイベント開催状況(p41~48)参照)

(1) さっぽろライラックまつり

ライラックの開花時期に大通公園で開催。昭和34年に第1回が開かれ平成24年で54回を迎えました。

(2) さっぽろ夏まつり

昭和29年に夏の観光名物の新規開拓を目指し誕生。平成24年で59回を迎えました。イベントの中心となっているのがさっぽろ大通ビアガーデンと北海盆踊りで、都市公園

で4大ビールメーカーが一同にビアガーデンを開催するのは全国的にも珍しいものです。

(3) さっぽろオータムフェスト

平成20年度から、札幌の新たな秋のイベントとして開催。平成24年で5回目の開催となります。「北海道・札幌の食」をメインテーマとして、道内各地の旬の食材、ご当地グルメやラーメン、道産のお酒などを提供します。

(4) さっぽろ菊まつり

昭和38年に菊作り愛好者が増える中、小規模な同好会活動が一本化され、全市的なスケールのイベントとして誕生。平成24年で50回を迎えます。平成23年の第49回からは、同年開通した札幌駅前通地下広場に会場を移しました。

(5) さっぽろ雪まつり

昭和25年に始まったこのまつりは、札幌を代表する世界的なイベントで、平成25年で64回を迎えます。約250基の雪氷像が7日間にわたり市民や観光客を楽しませます。

○各種まつりの連絡調整【事業担当】

(1) YOSAKOIソーラン祭り（第4章1札幌でのイベント開催状況(p42)参照）

平成4年に始まったこの祭りも平成24年で21回を迎え、約200万人の来場者が訪れる札幌の初夏を彩る一大イベントに成長しました。

(2) さっぽろホワイトイルミネーション（第4章1札幌でのイベント開催状況(p47)参照）

昭和56年に秋の観光シーズンとさっぽろ雪まつりをつなぐイベントとして誕生。平成24年で32回を迎えます。会場は大通公園、駅前通り及び南一条通りで、総数40万個もの電球が飾られ北の街の夜を幻想的に彩ります。

(3) ミュンヘンクリスマス市 in Sapporo

平成14年にミュンヘン市との姉妹提携30周年を記念し開催されました。会場は大通西2丁目で、ドイツのクリスマス市にちなんだ物販が行われ、札幌とミュンヘンの国際的な交流の場として市民に親しまれています。

○「札幌コンベンションセンター」の運営管理【庶務係】

国際会議や各種学会等の大規模な会議に対応できる大型コンベンション施設を設置しています。

〔札幌コンベンションセンター〕

所在地	白石区東札幌6条1丁目
電話番号	011-817-1010
開設年月	平成15年6月
構造／延床面積	鉄骨鉄筋コンクリート造、地下1階地上3階／20,309.90㎡
開館時間	午前9時から午後10時まで（休館日 12月29日から翌年1月3日）
管理運営	SORA-SCC共同事業体（指定管理者）
主要施設	大ホール（シアター形式2,500人収容）、特別会議室（シアター形式700人収容） 中ホール（シアター形式600人収容）、小ホール（固定席193人収容） 会議室（15室）、野外展示場、駐車場（475台収容）
敷地面積	41,018.51㎡
(URL)	http://www.sora-scc.jp/

○札幌国際ユースホステルの運営管理【庶務係】

来札幌観光客に低額な料金で、安全・快適な宿泊を提供する施設として札幌国際ユースホステルを設置しています。

〔札幌国際ユースホステル〕

所在地 豊平区豊平6条6丁目5番35号
電話番号 011-825-3120
開設年月 平成12年4月
構造／延床面積 鉄筋コンクリート造 地下1階付4階建／1,967.64㎡
定員／利用期間 120人／通年
管理運営 一般財団法人北海道ユースホステル協会（指定管理者）
宿泊料金等 宿泊3,800円（中学生以下3,300円、4歳未満無料）（冷暖房、シーツ料、税込）食事（朝食630円）
敷地面積 918.93㎡
(URL) <http://www.youthhostel.or.jp/kokusai/>

2 平成 24 年度観光文化局観光コンベンション部の機構・職員数

局長	部長	課長	係長	係員
観光文化局長	観光コンベンション部長	観光企画課長	庶務係長	3名
			企画調整担当係長	2名
		観光PR・イベント担当課長	観光振興担当係長	2名
			主査（調整）	
			事業担当係長	2名
			シティPR担当係長 （総務局東京事務所シティセールス担当係長兼務）	
	MICE 推進担当課長	観光誘致・受入担当係長	4名	
定山溪地区担当課長 （南区定山溪出張所長兼務）	定山溪地区担当係長 （南区定山溪出張所次長兼務）			
	部長職 （札幌振興公社派遣）			
		課長職 （札幌観光協会派遣）		
1名	2名	5名	8名	13名
合計職員数 29名				

3 平成 24 年度予算の概要

《平成 24 年度観光コンベンション部 予算の概要》

予算総額 762,033 千円（対前年度当初予算比 31.7%の減）

観光振興費

・観光企画宣伝費	35,742 千円	事務経費
・観光案内所運営費	53,948 千円	札幌駅・定山溪・大通公園の観光案内所の運営
・観光施設運営管理費	37,219 千円	コンベンションセンター・定山溪観光施設等の維持管理
・観光情報ポータルサイト運営費	12,107 千円	観光情報サイト「ようこそさっぽろ」運営

観光行事等助成費

・観光行事等助成費	151,820 千円	各種まつり・札幌観光協会等への補助
-----------	------------	-------------------

集客交流促進費

・国内観光振興事業費	23,300 千円	集客プロモーション・首都圏での集客イベント等の実施
・国際観光促進事業費	19,100 千円	アジアを中心とした海外からの観光客誘致の実施
・観光マップ制作事業費	4,250 千円	札幌の観光マップ日本語版の制作
・観光活性化基礎調査費	8,415 千円	観光客満足度調査・外国人観光客動態調査等
・おもてなし推進事業費	24,379 千円	市民・企業・行政の協働による受入環境整備等
・広域連携による観光振興事業費	4,020 千円	さっぽろ広域観光圏等による周遊事業の展開
・シティリゾートウェディング推進事業費	11,202 千円	フォトウェディング誘致・満足度調査等の実施
・ICTを活用した札幌まちなめぐり事業費	39,846 千円	携帯端末等による情報提供のためのシステム構築

都市魅力向上費

・雪まつり大通会場雪像制作費	53,437 千円	雪まつり大通会場における大雪像制作
・さっぽろ雪まつり魅力アップ事業費	128,900 千円	つどーむ会場でのイベント実施や新たな魅力創出
・定山溪地区整備促進事業費	22,161 千円	再整備構想策定に向けた調査・事業の実施
・藻岩山魅力アップ事業費	15,851 千円	藻岩山施設の運営管理・各種ソフト事業の実施
・さっぽろオータムフェスト事業費	29,500 千円	北海道・札幌の食をテーマにしたイベントの開催

コンベンション推進費

・コンベンションビューロー運営費補助金	44,665 千円	コンベンションビューローの実施事業に対する補助
・コンベンション誘致促進補助金	10,000 千円	コンベンション誘致促進のための開催費補助
・MICE 推進事業費	32,171 千円	MICE 誘致に係る事業の実施

4 トピックス

○札幌市公式観光スマートフォンアプリ『札幌いんふお』をリリース

近年、旅行形態が団体旅行から個人旅行へ移行しつつあり、旅行者が自分の嗜好に合った訪問地を自ら探して訪れるケースが多くなってきています。また、スマートフォンやタブレットと呼ばれる携帯端末が急速に普及してきており、外国人の携帯端末普及状況が半数以上となっていること（本市「平成 22 年度外国人個人観光客動態調査」より）などから、札幌市では携帯端末向けの観光アプリケーションを制作して、国内外の観光客に観光情報の提供を行うこととし、平成 24 年 9 月にリリースしました。

このアプリケーションは、画面の見やすさや、位置情報と連動したナビゲーション機能、リアルタイムの情報提供機能（Twitter や Facebook などとの連携）などが連動しており、使い勝手の良さに特徴があります。

旅行中の使用だけでなく、旅行前に旅行地を選ぶ際にも活用してもらうことを想定し、



観光マップや観光施設、観光モデルコースといった基本的な観光情報から、イベント、食、芸術文化、スポーツなど札幌の魅力を満載した内容としています。

また、収録している内容は今後も順次追加していきます。



公式サイト <http://www.hbc.co.jp/rocket/sapporoinfo/pc/index.html>

○シティ・リゾートウエディングの取り組み

香港、台湾、中国等においては、カップルが婚前に記念写真の撮影旅行を行うスタイルが一般的であることに着目し、香港等からのフォトウエディング（結婚記念写真旅行）の誘客を目指した取り組みを行っています。

札幌及び周辺地域が有する四季折々の自然や歴史的景観はこの撮影旅行に適していることから、新たな観光需要の掘り起こしと「札幌＝ウエディング」のブランドイメージの確立を目指します。



札幌市とウエディング関連の民間事業者が連携してこの取り組みを推進するために、平成 23 年 10 月に「札幌ロケーションフォト・ウエディング協議会」を設立しました。

平成 23 年 12 月には、香港のカップル 3 組 6 名をモニターとして札幌に招待し、札幌でのロケーションフォト・ウエディングを体験していただき、その様子を香港の雑誌メディアをはじめ、体験した本人たちが Facebook 等で友人・知人に紹介するなど、様々な方法で PR 活動を展開しています。

また、平成 24 年 2 月には、香港で開催された「66th Valentine's Wedding Service & Banquet EXPO」(ウエディング EXPO)に出展して、直接エンドユーザーにロケーションフォト・ウエディングの商品 PR を行い、知名度及び認知度の向上に取り組んでおります。

今後も、香港等で開催される「ウエディング EXPO」などの結婚関連イベントに民間事業者と連携しながら積極的に参加し、札幌のロケーションフォト・ウエディングのブランドイメージ確立に取り組み、将来的には挙式による誘客を目指します。

○フォトコンテストの開催

近年、携帯電話のカメラ機能の高性能化や多種多様なデジタルカメラが登場し、幅広い層に写真撮影が親しまれるようになってきました。そこで、写真撮影を通じ、札幌観光をより楽しんでもらうために「さっぽろフォトコンテスト」を開催し、平成 24 年 11 月 30 日まで作品を募集しています。

フォトコンテストは様々な媒体を活用して告知することで、広く札幌を露出させ旅行意欲を喚起させるとともに、対象エリアのさっぽろ広域観光圏が有する豊かな自然等をロケーションとした応募作品を通じて、これまで認知されていなかった光景や場面を発見し、新たな観光スポットとして見出すことも狙いとしています。

さらに、フォトコンテストの入賞作品は、PR ツールの制作や各地で行うプロモーション活動などで積極的に使用し、札幌の魅力発信に活かしていきます。



■ 第 1 期のグランプリ作品『夕陽と藻岩山ロープウェイ』

○震災後の観光客動向及び今後の展望

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、その後続いた福島第一原子力発電所事故の影響は大きく、平成23年度の来札観光客入込数は、前年度から3.5%減少し、1,216万5千人にまで落ち込みました。これは、過去最高の平成18年度との比較では2百万人もの減となります。また、外国人宿泊者数についても、前年度から3割減の42万9千人と大幅な減少となりました。

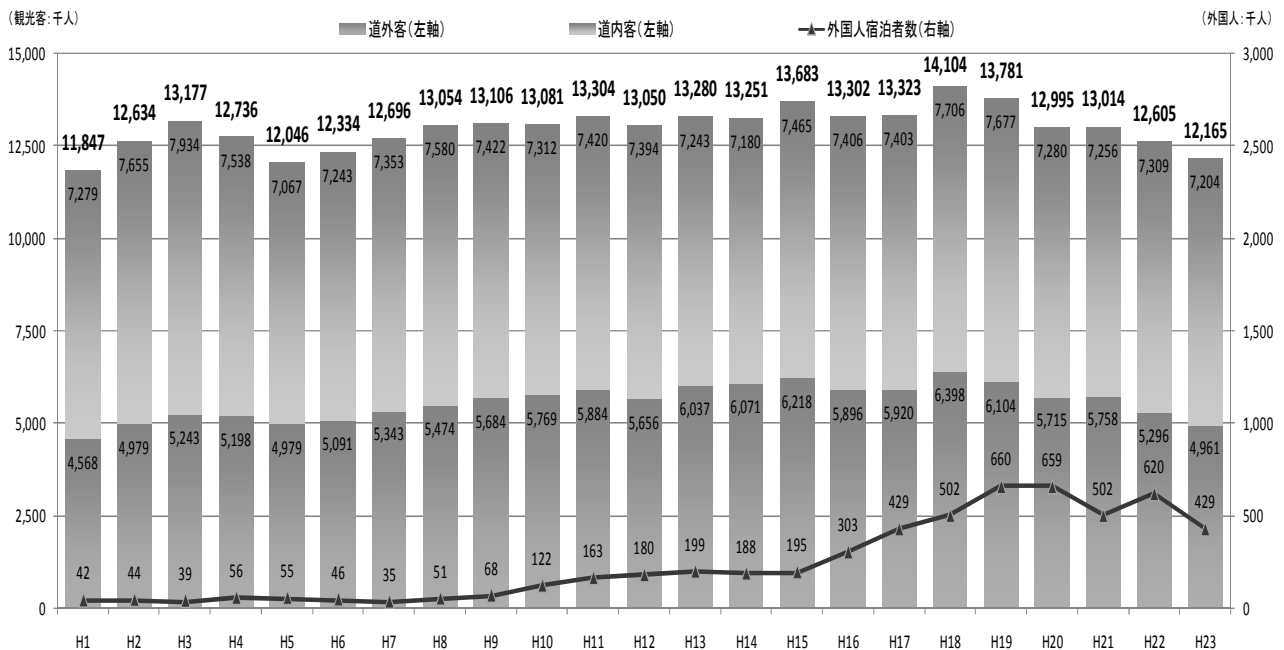
特に震災直後の落ち込みは大きく、札幌市では道民の道内観光を促進するキャンペーン、首都圏・関西圏におけるプロモーション活動、市長の中国訪問によるトップセールス、市内の留学生にTwitterやFacebookなどのソーシャルメディアで母国へ情報発信をしてもらう試みなど、国内外に向けて様々な取り組みを行いました。

特に台湾を巡っては、日本へ声援を送るべく台湾の行政院長が300人規模の訪問団を率いて札幌や釧路などを訪れたり、日本の特別天然記念物であるタンチョウが釧路市動物園から台北市立動物園に貸与され、これに合わせて北海道知事が訪台するなど、相互交流が活発となりました。このような動きを受け、台湾からの宿泊者数は、年度の後半では前年度比4割増となり、回復の先駆けとなっています。

一方で、国・地域によって動向は大きく異なり、韓国は円高・ウォン安等が重なり、落ち込みが続くなど、海外からの観光客の動向は先が読めない状況となっています。

国内を含めた今後の見通しとしては、今年は3月にピーチ・アビエーション、7月にジェットスター・ジャパン、8月にはエアアジア・ジャパンなど、LCC (Low Cost Career) と呼ばれる格安航空会社が相次いで新千歳に就航しており、新規の需要創出が期待されます。

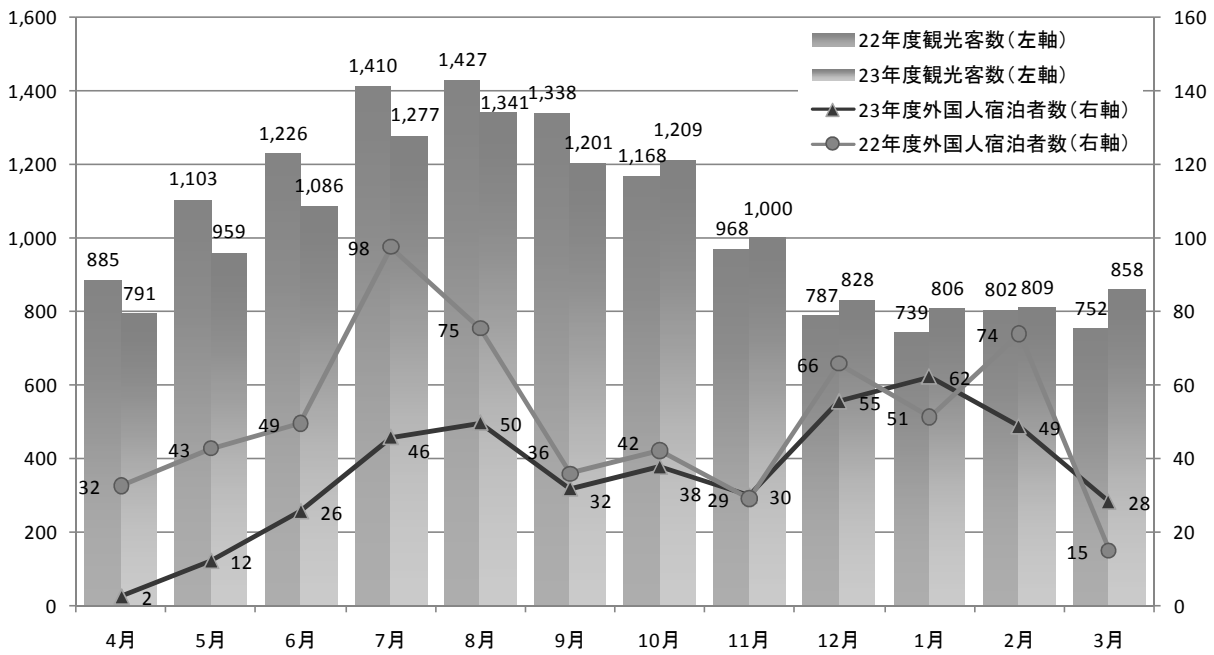
■ 来札観光客数及び外国人宿泊者数の推移



■ 来札観光客数及び外国人宿泊者数の月別推移

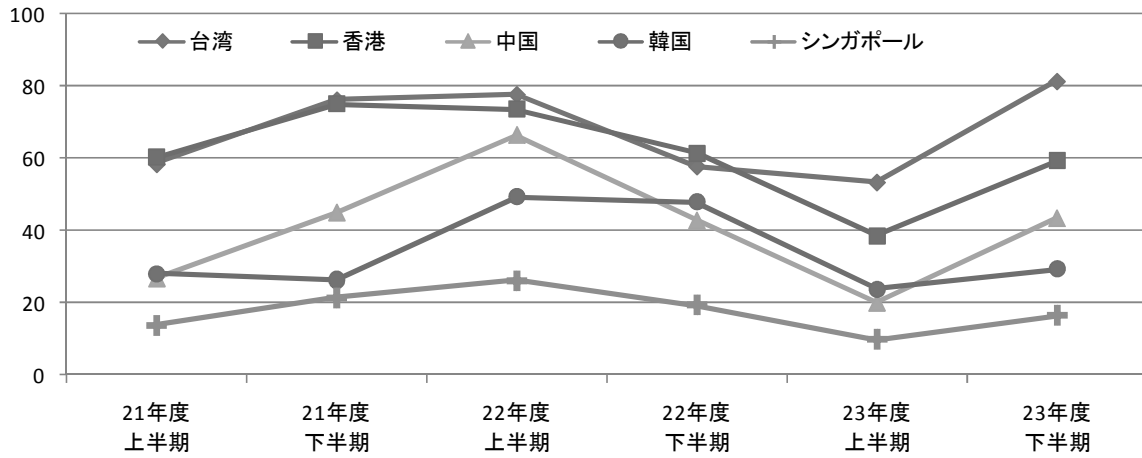
(観光客:千人)

(外国人:千人)



■ 外国人宿泊者数の半期毎の国別推移

(外国人:千人)



※上半期：4月～9月、下半期：10月～3月